

# 健苗育成で高品質米生産のスタートダッシュ！

## 1 育苗計画 ～品種に応じて適期となる田植え計画を立てましょう～

- 高温登熟を回避するため、コシヒカリの移植は5月10日以降に行うよう育苗計画を立てましょう。つきあかり等の早生品種は早期に茎数を確保するためコシヒカリより早く作業を開始し、5月10日頃までの移植となるよう計画しましょう。
- 育苗期間のめやすは、コシヒカリの稚苗では表1のとおりです。
- は種が早すぎると老化苗となり、本田での初期生育不良につながります。稚苗は2.0葉、中苗は3.5葉を適期に田植えできるように、育苗計画を立ててください。
- 高密度播種は、軟弱徒長し、育苗期間が長いと老化苗になりやすいので、移植時期に合わせた作業を実施しましょう。

表1 コシヒカリ稚苗の育苗スケジュールの例（5月10日移植の場合）

育苗様式	浸種	催芽	は種	出芽期	緑化期	硬化期	移植
加温出芽ハウス	4/10～	4/20～	4/22	4/22～	4/24～	4/27～	5/10
加温出芽露地プール	4/8～	4/18～	4/20	4/20～	4/22～	4/25～	
無加温出芽ハウス	4/3～	4/13～	4/15	4/22～	4/24～	4/27～	

## 2 育苗管理 ～育苗様式に応じた管理を徹底しましょう～

育苗様式	ハウス育苗	露地プール育苗
出芽期	加温 ○ 稚苗は30℃で2～3日程度加温し、出芽長を0.5～1cmにしましょう。 ○ 中苗は30℃で1～2日程度加温し、出芽長を0.5cm未満にしましょう。 ※こしいぶきは苗丈が短くなりやすいので出芽長1cmをめやすとしましょう。	○ 出芽が不安定となりやすいため加温出芽を基本とします。やむを得ず無加温出芽する場合は、早期の播種を避け、4月下旬以降の播種としましょう。
	無加温 ○ ハウスでの無加温出芽は5～7日程度日数を要します。低温時は保温するなど注意しましょう。	
緑化期	○ 出芽期直後の苗は、急激な気温の変化や強い光に弱いので、緑化完了までは被覆資材で遮光しましょう。 ○ 床土が乾燥している場合は、床土の温度低下を避けるため、午前中の早い時間に灌水しましょう。 ○ 第1葉の葉鞘の長さが稚苗で3.5～4.0cm、中苗で2.5～3.0cmになったら被覆資材をはがし、緑化を終了します。	○ シルバーポリトウ#80やミラシート、ラプシート、ワリフなどを組み合わせて二重に被覆し保温に努めましょう。 ○ 高温が予想される日中は、ヤケ苗の発生防止のため遮光しながら必要に応じて資材を除覆しましょう。
	○ ハウス内が25℃以上の場合や好天で気温が上がりそうな時は、換気を行いヤケ苗の発生を防止しましょう。 ○ 温度は昼間20～25℃、夜間15～18℃が管理のめやすです。	
硬化期	○ 除覆後は日中にハウスを開放し、苗を徐々に外気にならしていきます。 ○ 温度は昼間15～20℃、夜間10℃以上が管理のめやすです。	○ 葉齢が1～1.2葉になった頃から、かん水を開始します。 ○ 床土に水分を含むと苗箱が重くなるため、移植2～3日前には落水します。

## 3 移植前追肥（べんとう肥）の施用

- （1）施用時期は移植4～5日前（1.8葉期）が基本です。苗の老化防止と移植後の活着を早める効果があります。
- （2）窒素成分で1箱当たり1～2gとなるよう、肥料を箱の上から散布します。散布後は十分散水して肥料ヤケを防ぎましょう。
- （3）プール育苗の場合は落水後に灌注するか、箱の上まで水を張って施用しましょう。後者の場合は施用後2日間程度落水しないようにしましょう。
- （4）軟弱・徒長苗の場合は、障害発生の可能性があるため追肥を控えましょう。

## 4 施肥 ～気象変動に強い稲づくりのため、土づくり肥料を活用しましょう～

基肥は、良質茎の早期確保のために重要です。しかし、施用量が多すぎると過剰生育となるため、前年に生育過剰となったほ場や倒伏したほ場では減肥しましょう。それぞれのほ場の地力に合わせて施肥量を設計することが重要です。リン酸、加里の少ない低コスト肥料を使用する場合は、事前に土壌診断を行い、リン酸・加里が不足していないことを確認しましょう。高温登熟等での品質・収量低下を防ぐため、土づくり肥料や堆肥等有機物を活用し、稲体の強化に努めましょう。

【コシヒカリの基肥量のめやす(kg/10a)】(分施)

成分 土壌の種類	窒素	リン酸	加里
粘土質	2～3 (2～3)	7 (10)	6 (6)
砂質	3～4	8	8
黒ボク	(4)	(10)	(8)

【こしいぶきの基肥量のめやす(kg/10a)】(分施)

成分 土壌の種類	窒素	リン酸	加里
粘土質	3 (3)	7 (7)	6 (6)
砂質	4	8	6
黒ボク	(4)	(7)	(6)

※カッコ内は中山間地の値

## 5 耕うん・代かき作業

- （1）畦塗りは丁寧に行い、畦畔の亀裂やねずみ穴等からの漏水防止に努めましょう。
- （2）耕起はなるべくほ場が乾いた状態でいきましょう。過湿の状態では耕起すると深さが不均一になります。
- （3）根域を拡大させ、高温や水不足の影響を軽減するために、耕深15cmを確保しましょう。
- （4）代かき時の水位は、田面の高い部分が見えかくれする程度の最小限としましょう。
- （5）代かき時期はできるだけ移植2～3日前とします。代かきから移植までの間が長すぎると雑草の発生が多くなります。

